

広野町消防団並びに 婦人消防隊出初め式を挙行



↑ 通常点検を受ける消防団員

1月15日（日）、広野町総合グラウンドにおいて令和5年広野町消防団並びに婦人消防隊出初め式を挙行しました。感染症対策を十分に行った上で、広野駅前商店街でのパレードを実施し、広野町認定こども園園児による防火宣言が行われました。

式では遠藤町長から「消防の重要性を胸に刻み、自信と誇りを持って、住民の信頼と期待に応えるべく、団長・隊長指揮のもと、一丸となって取り組んでください」とあいさつしました。

また、式終了後には二ツ沼総合公園において放水訓練も実施されました。

新春交歓会を開催



↑ 新春交歓会の様子

令和5年新春交歓会が1月6日（金）、広野中央体育館で行われ、約120名の関係者や町民が集い、新年のあいさつを交わしました。遠藤町長が「今年のふるさと復興創生「草創の年」として町の復興を正面に受け止め、一步一步着実に、未来創造に向けて、まい進してまいります」と新年のあいさつをしました。

また、来賓として出席した星北斗参議院議員、新澤徹也福島復興局富岡支所長などが祝辞を述べました。

懇談後には、ふたば未来学園中・高吹奏楽部による演奏も披露され新年の節目に花を添えました。

3年ぶり暮市の開催



↑ 3年ぶりに開催された暮市

広野駅西側の駅前通りで12月24日（土）暮市が行われました。

毎年開催を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で3年ぶりの開催となりました。商店街には、正月用品、地元産野菜の販売や露店などが並び多くの町民でにぎわいました。また、ふたば未来学園吹奏楽部による演奏も行われ、会場が美しい音色に包まれました。

トヨタカローラいわき株式会社が 広野町に車椅子寄贈



↑ トヨタカローラいわき株式会社河口利夫社長(左)から車椅子を受け取る遠藤町長(右)

トヨタカローラいわき株式会社が車椅子3台と車いす用クッション3枚を寄贈するため12月7日（水）に贈呈式が行われました。社会貢献活動の一環として不要になったアルミホイールなどを回収し、その資金で車椅子を購入して浜通り地区の福祉施設などに寄贈する取り組みを行っています。遠藤町長は「福祉のまちづくりを宣言し、高齢者に優しいまちづくりを進めていくため、大切に使用させていただく」とあいさつしました。

渡辺復興大臣が 就任のあいさつのため来庁



↑ 渡辺復興大臣にあいさつする遠藤町長(右から2人目)

渡辺博道復興大臣が1月16日（月）、就任のあいさつのため広野町役場を訪れました。

あいさつの中で、「福島の復興を停滞させてはならない。現場主義を徹底し、被災地に寄り添い全身全霊で取り組んでいく。地元のみなさんと一緒に素晴らしい福島双葉郡をつくっていききたい」とあいさつされました。遠藤町長からは、「さまざまな課題を乗り越えるべく力を合わせて双葉地方の復興にまい進していく」と御礼を述べました。

東京電力小早川社長が来庁



↑ 小早川社長にあいさつする遠藤町長(右)

東京電力ホールディングス株式会社小早川智明社長が1月4日（水）、広野町役場を訪れ、遠藤町長と北郷議長と意見交換をしました。

遠藤町長は、「中間指針の見直しや海洋放出など町民の理解を得るべく万全を期して取り組んでいただきたい」と要望しました。小早川社長は、「福島の復興と廃炉を果たすべく私が先頭に立ち取り組んで参ります」と述べました。

新妻有機農園が第24回米・食味分析鑑定 コンクール国際大会で特別優秀賞受賞報告



↑ 受賞した新妻秀平さん(左)と遠藤町長(右)

第24回米・食味分析鑑定コンクール国際大会で特別優秀賞を受賞した新妻有機農園 専務の新妻秀平さんが広野町役場を訪れ、遠藤町長に受賞を報告しました。

有機栽培にこだわり、県内外の金賞受賞農家を訪ねるなどおいしい米づくりの研究を重ね、今回初めて最終審査にノミネートされ、特別優秀賞を受賞しました。

新妻さんは、「受賞という形で対外的に認められてうれしいです。これからもおいしい米づくりに向けて励んでいきます」と受賞の喜びを話しました。

二ツ沼公園トレイルラン



↑ スタートする小学生ランナー

浜通り、中通り、会津の野山で健脚を競うシリーズ戦「ふくしまキッズトレイルラン大会」第3ステージが1月9日（月）、二ツ沼総合公園で行われました。県内外から未就学児から小学生まで多くの参加者が駆け巡りました。また、大人も参加できる企画として2時間耐久ミニトレイル駅伝も開催されチームごとに競い合いました。